

2024 年度 (対象年度 2021～2023 年度) 自己点検・評価シート

自己評価組織 生命健康科学部

基準 2 内部質保証

I. 課題事項等への対応状況

前回の「自己点検・評価シート」の課題事項、ピアレビュー結果（留意点）を転記し、改善・向上への取り組みおよび進捗状況を記入してください。

☑ 課題事項 ☐ ピアレビュー結果（留意点）	
項目 No. 0203	0203 作業療法学科、理学療法学科以外の学科でも外部評価の機会があれば受審できるようにしたい。そのための予算措置を大学に求めたい。
改善・向上への取り組みおよび進捗状況 *成果の有無を問わない	
外部評価のためには、予算が必要であるため、作業療法学科、理学療法学科以外の学科の外部評価は見送っている。しかし、大学、学部による自己点検・評価は例年実施し、評価に基づき学部教育等の改善に努めている。	

II. 自己点検・評価

1. 現状説明と自己評価

「自己評価」欄に「S：高い水準で取り組んでおり、その取り組みが他の模範となりうる」「A：概ね取り組んでいるが、若干改善の余地がある」「B：取り組んでいるが、改善すべき点が多い」「C：今後取り組んでいく」の4段階で、対象年度における自己評価を記入してください。

「現状説明」欄に、それぞれの「自己点検・評価項目」について、対象年度における実施状況を「評価の視点」も踏まえて記入してください。

自己点検・評価項目	0201	内部質保証のための方針を適切に設定していること。また、教育の充実と学習成果の向上を図るために、内部質保証システムを整備し、適切に機能させていること。	自己評価	A
評価の視点	(3)大学全体規模や学部、研究科その他の組織（教職課程を実施する全学的組織を含む）における自己点検・評価をそれぞれ定期的に実施し、その結果を活用して改善・向上に取り組んでいるか。 (4)学部、研究科その他の組織における自己点検・評価の客観性、妥当性を高めるために、学生の意見や外部の視点を取り入れるなどの工夫をしているか。 (5)行政機関、認証評価機関等から指摘事項があった場合、それに適切に対応しているか。			
現状説明				
2021 年度に大学による自己点検・評価の詳細点検を学部として実施し、ピアレビューを受審した[2-1]。その後は、2021 年度、2022 年度と年度点検を実施し、大学に報告するとともに、結果を学科全教員で共有している[2-2, 2-3]。理学療法学科並びに作業療法学科に関しては、以前も受審したりハビリテーション教育評価機構による定期評価の時期にあたり、外部評価を受審した。両学科とも同機構から S 評価で認証された[2-4, 2-5]。作業療法学科については「基礎作業実習室の整備が求められる」「総合的観点で教育を実践し、高い学修成果を得ている」という評価および指摘を受けている。また、並行して日本作業療法士協会による WFOT 認定等教育水準審査を受審して合格し、WFOT（世界作業療法士連盟）認定養成校として登録された[2-6]。				

2. 長所・特色

各項目の「現状説明」の中で「先駆性や独自性があるもの、有意な成果がみられるもの、他の組織の模範となるもの」を記入してください。

長所・特色 《箇条書き》	
項目 No. 0201	理学療法学科・作業療法学科は外部機関による評価を受審し、認証された。
項目 No. 0201	2021 年度ピアレビューの意見に基づき個別課題の対応を実施した[2-7]

3. 課題事項と今後の改善・向上方策

各項目の「現状説明」の中で「改善すべき点、向上すべき点」など、課題として認識した事項や、更なる向上を目指す事項について、現時点での改善・向上への取り組み（予定）および進捗状況を記入してください。

課題事項 《箇条書き》	
項目 No. 0201	自己点検・評価が不十分の学科もある
今後の改善・向上方策	
学部として教授会等で各学科での自己点検・評価活動をきちんと実施するようによびかける。	

課題事項 《箇条書き》	
項目 No. 0201	作業療法学科の外部評価での指摘
今後の改善・向上方策	
基礎作業実習室の整備を実施する必要があるが、予算を確保でき次第行う予定である。	

《以下はピアレビュー委員が記入します》

Ⅲ. ピアレビュー結果

総評	
レビューなし	
長所・特色	
留意点	
*各項に留意点レベルを記入	
【A】・・・緊急の改善を要する事項	
【B】・・・検討を要する事項	

根拠資料 No.	ピアレビューにより追加された根拠資料の名称	提出 区分

提出区分 … ○：本シートと一緒に提出する資料
 ●：提出するが評価者以外の閲覧を不可とする
 △：現部署で保管

2024 年度 (対象年度 2021～2023 年度) 自己点検・評価シート

自己評価組織 生命健康科学部

基準 4 教育・学習 (4a)

I. 課題事項等への対応状況

前回の「自己点検・評価シート」の課題事項、ピアレビュー結果（留意点）を転記し、改善・向上への取り組みおよび進捗状況を記入してください。

☒ 課題事項	☐ ピアレビュー結果（留意点）
項目 No. 0401	医療資格系の学問領域における 3 つのポリシーの確立
改善・向上への取り組みおよび進捗状況	*成果の有無を問わない
大学の方針にも従って、あらたな DP, CP, AP を検討し、大学ホームページなどに公表した[4a-1]。	

☒ 課題事項	☐ ピアレビュー結果（留意点）
項目 No. 0403	学部教務委員会のさらなる活動展開の強化
改善・向上への取り組みおよび進捗状況	*成果の有無を問わない
学部教務委員会の実質的な活動展開を図るため、メール会議も含む頻回の委員会開催を実施した[4a-2]。	

II. 自己点検・評価

1. 現状説明と自己評価

「自己評価」欄に「S：高い水準で取り組んでおり、その取り組みが他の模範となりうる」「A：概ね取り組んでいるが、若干改善の余地がある」「B：取り組んではいるが、改善すべき点が多い」「C：今後取り組んでいく」の 4 段階で、対象年度における自己評価を記入してください。

「現状説明」欄に、それぞれの「自己点検・評価項目」について、対象年度における実施状況を「評価の視点」も踏まえて記入してください。

自己点検・評価項目	0401	達成すべき学習成果を明確にし、教育・学習の基本的なあり方を示していること。	自己評価	A
評価の視点	(1) 学位授与方針において、学生が修得すべき知識、技能、態度等の学習成果を明らかにしているか。また、教育課程の編成・実施方針において、学習成果を達成するために必要な教育課程および教育・学習の方法を明確にしているか。 (2) 上記の学習成果は授与する学位にふさわしいか。			
現状説明	本学部が関与する医療系国家資格については、現在、教育上の変革がなされており、指定規則の改定が行われた。そのため、本学部の多くの学科で教育課程変更が行われた。さらに、大学でも DP・CP の見直しが行われ、本学部各学科も指定規則変更とあわせて検討し、学部教授会での承認のうえでホームページに公開した。			

自己点検・評価項目	0402	学習成果の達成につながるよう各学位課程にふさわしい授業科目を開設し、教育課程を体系的に編成していること。	自己評価	A
評価の視点	学習成果の達成につながるよう、教育課程の編成・実施方針に沿って授業科目を開設し、教育課程を体系的に編成しているか。			

	※ 具体的な例 ・授与する学位と整合し専門分野の学問体系等にも適った授業科目の開講。 ・各授業科目の位置づけ（主要授業科目の類別等）と到達目標の明確化。 ・学習の順次性に配慮した授業科目の年次・学期配当および学びの過程の可視化。 ・学生の学習時間の考慮とそれを踏まえた授業期間および単位の設定。
現状説明	
新たな DP, CP の方針にそって授業科目を開設し、教育を実施している。順序性や体系を理解するために、カリキュラムマップ、カリキュラムツリーを作成した [4a-3]。 各授業科目の位置づけ、到達目標の明確化については、毎年のシラバス第三者点検にて確認を行っている。	

自己点検・ 評価項目	0403	課程修了時に求められる学習成果の達成のために適切な授業形態、方法をとっていること。また、学生が学習を意欲的かつ効果的に進めるための指導や支援を十分に行っていること。	自己 評価	A
評価の視点	(1)授業形態、授業方法が学部・研究科の教育研究上の目的や課程修了時に求める学習成果および教育課程の編成・実施方針に応じたものであり、期待された効果が得られているか。 (2)ICT を利用した遠隔授業を提供する場合、自らの方針に沿って、適した授業科目に用いられているか。また、効果的な授業となるような工夫を講じ、期待された効果が得られているか。 (3)授業の目的が効果的に達成できるよう、学生の多様性を踏まえた対応や学生に対する適切な指導等を行い、それによって学生が意欲的かつ効果的に学習できているか。 ※ 具体的な例 ・学習状況に応じたクラス分けなど、学生の多様性への対応。 ・単位の実質化（単位制度の趣旨に沿った学習内容、学習時間の確保）を図る措置。 ・シラバスの作成と活用（学生が授業の内容や目的を理解し、効果的に学習を進めるために十分な内容であるか。）。 ・授業の履修に関する指導、学習の進捗等の状況や学生の学習の理解度・達成度の確認、授業外学習に資するフィードバック等などの措置。			
現状説明				
DP 達成に向けて段階学修を重視した教育課程を編成している。学科教務委員会にて学期ごとに学生の必修科目の単位取得状況を取りまとめ、教育編成上の問題がないかを確認している [4a-2] 。 多様性を踏まえた対応、学生に対する適切な指導については、おもに毎月開催される学部主任会において、各学科から教育に関する情報や学生に関わる課題等の情報共有を図り、効果的な指導や支援について検討されている[4a-4]。 学生と教員との懇談会を各学科で年 1 回開催するよう企画し、授業に関する学生からの質問や要望を把握し必要な対策を検討する機会としている。				

2. 長所・特色

各項目の「現状説明」の中で「先駆性や独自性があるもの、有意な成果がみられるもの、他の組織の模範となるもの」を記入してください。

長所・特色 《箇条書き》	
項目 No. 403	学部教務委員会の実質化[4a-2]
項目 No. 403	学部主任会での学科教育に関する情報共有[4a-4]

3. 課題事項と今後の改善・向上方策

各項目の「現状説明」の中で「改善すべき点、向上すべき点」など、課題として認識した事項や、更なる向上を目指す事項について、現時点での改善・向上への取り組み（予定）および進捗状況を記入してください。

課題事項 《箇条書き》	
項目 No. 403	教育課程の編成・実施方針と期待する効果の評価
今後の改善・向上方策	
学部主任会や学部教務委員会での情報交換を行うとともに、学生からの意見の吸い上げをいっそう促す。	

課題事項 《箇条書き》	
項目 No. 403	学生教員懇談会の積極的推進
今後の改善・向上方策	
本学部では学生の意見を聴取するため、年1回、学生と教員の懇談会を開催することを原則としている。しかし、学科によっては開催されない場合もあり、あらためて主任会等の機会に各学科に周知する。	

《以下はピアレビュー委員が記入します》

Ⅲ. ピアレビュー結果

総評	
0401 医療系国家資格に関連した教育上の変革に沿って教育課程の変更が適切に行われており、新たに策定したDP, CP, AP を検討し、大学ホームページに公開することで達成すべき学修成果が明確化され、教育・学習の基本的なあり方が適切に示されている[4a-1]。	
0402 カリキュラムマップ、カリキュラムツリーによって授業科目の「順序性や体系」が視覚的に理解できるよう工夫がなされている [4a-3]。	
0403 学部・学科教務委員会が学期ごとに学生の必修科目の単位取得状況を確認することで、丁寧な学習状況の把握がなされている[4a-2]。学部主任会の中では学科間で学生・教育上の課題が共有されており、学生の多様性を踏まえた適切な指導についての検討がなされている[4a-4]。	
以上のことから、CP, DP は公開されており、その方針に沿って「学部教務委員」が教育課程をチェックする体制が機能している。	
長所・特色	
0403 授業の目的が効果的に達成できるよう、「学部教務委員会」が学生の単位取得状況を確認するなど丁寧な学習状況の把握に努めている[4a-2]。	
留意点	
*各項に留意点レベルを記入	
【A】・・・緊急の改善を要する事項	
【B】・・・検討を要する事項	
特になし	

根拠資料 No.	ピアレビューにより追加された根拠資料の名称	提出 区分
	なし	

提出区分 … ○：本シートと一緒に提出する資料

●：提出するが評価者以外の閲覧を不可とする

△：現部署で保管

2024 年度 (対象年度 2021～2023 年度) 自己点検・評価シート

自己評価組織 生命健康科学部

基準 4 教育・学習 (4b)

I. 課題事項等への対応状況

前回の「自己点検・評価シート」の課題事項、ピアレビュー結果（留意点）を転記し、改善・向上への取り組みおよび進捗状況を記入してください。

☒ 課題事項	☐ ピアレビュー結果（留意点）
項目 No. 0404	学生の主体的参加を促進する講義方法等の改善にむけて教員の授業改善活動をさらに支援する。
改善・向上への取り組みおよび進捗状況	*成果の有無を問わない
学部 FD 委員会が主催し、授業方法や多学科連携などの手法について講演会や発表会を実施し、教員相互の情報交換を行っている[4b-1]。	

II. 自己点検・評価

1. 現状説明と自己評価

「自己評価」欄に「S：高い水準で取り組んでおり、その取り組みが他の模範となりうる」「A：概ね取り組んでいるが、若干改善の余地がある」「B：取り組んではいるが、改善すべき点が多い」「C：今後取り組んでいく」の4段階で、対象年度における自己評価を記入してください。

「現状説明」欄に、それぞれの「自己点検・評価項目」について、対象年度における実施状況を「評価の視点」も踏まえて記入してください。

自己点検・評価項目	0404	成績評価、単位認定および学位授与を適切に行っていること。	自己評価	A
評価の視点	(1)成績評価および単位認定を客観的かつ厳格で、公正、公平に実施しているか。 (2)成績評価および単位認定にかかる基準・手続（学生からの不服申立への対応含む）を学生に明示しているか。 (3)既修得単位や実践的な能力を修得している者に対する単位の認定等を適切に行っているか。 (4)学位授与における実施手続および体制が明確であるか。 (5)学位授与方針に則して、適切に学位を授与しているか。			
現状説明	成績評価はシラバスに記載する基準に従って極力客観的に実施しており、その基準が妥当がどうかは、シラバス第三者点検にて確認しシラバス内で明示している[4b-2]。 既修得単位や実践的な能力を習得している者に対する単位の認定は、大学のルールに則り行われている。 また、学位授与に関する審議は各学科で行ったうえで、学部教授会にて最終的に審議承認を得ている[4b-3：教授会議事録]。			

自己点検・評価項目	0405	学位授与方針に明示した学生の学習成果を適切に把握および評価していること。	自己評価	A
評価の視点	(1)学習成果を把握・評価する目的や指標、方法等について考えを明確にしているか。 (2)学習成果を把握・評価する指標や方法は、学位授与方針に定めた学習成果に照らして適切なものか。			

	(3)指標や方法を適切に用いて学習成果を把握・評価し、大学として設定する目的に応じた活用を図っているか。 《学習成果の測定方法例》 ・アセスメント・テスト（GPS-Academic） ・ルーブリックを活用した測定 ・学習成果の測定を目的とした学生調査（学びに関する調査 等） ・卒業生、就職先への意見聴取
現状説明	
学習成果の把握、評価等は各学科にまかせているが、例えば保健看護学科では教育目的に基づく「保健看護学科教育目標形成評価表」を用い、学期ごとの面談にて学生の学習成果を把握、学生自身にて確認できるようにしている[4b-4：形成評価の手引き]。 学習成果の測定では、各学科の担当教員、指導教授よりアセスメント・テスト、学びに関する調査への回答を促している。結果は学部全教員に周知している[4b-3]。 卒業研究や臨地実習科目の評価では、学科ごとにルーブリック評価表を作成し、演習・実習科目について、より客観的な視点から評価できるようにした[例として4b-5：保健看護学科ルーブリック表]。	

自己点検・評価項目	0406	教育課程およびその内容、教育方法について定期的に点検・評価し、改善・向上に向けて取り組んでいること。	自己評価	A
評価の視点	(1)教育課程およびその内容、教育方法に関する自己点検・評価の基準、体制、方法、プロセス、周期等を明確にしているか。 (2)課程修了時に求められる学習成果の測定・評価結果や授業内外における学生の学習状況、資格試験の取得状況、進路状況等の情報を活用するなど、適切な情報に基づいているか。 (3)外部の視点や学生の意見を取り入れるなど、自己点検・評価の客観性を高めるための工夫を行っているか。 (4)自己点検・評価の結果を活用し、教育課程およびその内容、教育方法の改善・向上に取り組んでいるか。			
現状説明				
教育課程については、本学部の諸学科は文科省/厚労省による指定規則によって教育内容が規定されており[4b-7：指定規則]、教育成果の評価については各学科が担当している。多くの学科で、それぞれの指定規則が数年前に変更され、その完成年度が近づいている。完成年度において、それまでの教育方法の評価を実施し、新たな教育課程の検討を行う予定である。 本学部の場合、国家資格と関連しており、教育成果の評価ツールの大きなものとして国家試験合格率がある。この合格率や「学生による授業評価」、GPS-Academic などの結果をみながら、教育状況の検討を行っている。 理学療法学科や作業療法学科の教育評価では、リハビリテーション教育評価機構による外部評価が行われている[2-4, 2-5]。学生の意見等については「学生による授業評価」などを参照にして各教員が授業内容や方法の工夫をしている。 自己点検・評価とは直接関連付けられないが、学部 FD 委員会では授業についての種々の工夫や評価方法などについて研修会を実施している[4b-1]。				

2. 長所・特色

各項目の「現状説明」の中で「先駆性や独自性があるもの、有意な成果がみられるもの、他の組織の模範となるもの」を記入してください。

長所・特色 《箇条書き》	
項目 No. 0406	長所でもあり短所でもあるのだが、本学部の多くの学科の教育は文科省/厚労省の指定規則に基づき実施されるので、教育内容が担保されている。
項目 No. 0406	学部 FD 委員会による授業方法等の研修会が開催され、学部教員に共有されている。
項目 No. 0404	卒業研究や臨地実習科目の評価としてルーブリック評価が全学科に導入され、実習・演習科目の評価がより客観的になった。

3. 課題事項と今後の改善・向上方策

各項目の「現状説明」の中で「改善すべき点、向上すべき点」など、課題として認識した事項や、更なる向上を目指す事項について、現時点での改善・向上への取り組み（予定）および進捗状況を記入してください。

課題事項 《箇条書き》	
項目 No. 0406	教育課程や学修成果の評価
今後の改善・向上方策	
上述のように本学部の多くの学科が国家資格取得と関連しており、教育評価の大きな指標として国家試験合格率がある。しかし、日常的な学習成果を評価し、マイナーな修正ができるような指標を検討し、改善を実行する。	

《以下はピアレビュー委員が記入します》

Ⅲ. ピアレビュー結果

総評	
0404 成績評価についてはシラバス第三者点検にて確認し、シラバス内で明示されている[4b-2]。学位授与についても「大学のルール」に即して各学科で適切な審議がなされており、学部教授会にて承認を得ていることから単位認定および学位授与が適切に行われている[4b-3]。	
0405 各学科の担当教員、指導教授がアセスメント・テスト、学びに関する調査への回答に基づき学習成果の測定を客観的に行っている。また学部全教員がこれを把握できるシステムを構築している点は評価できる[4b-3]。学科ごとにルーブリック評価表を作成し客観的な成績評価の仕組みを整えた点で改善がみられる[4b-5]。	
0406 学問の性質上、学科ごとにバラつきがあるとは言え、国家試験合格率や「学生による授業評価」、GPS-Academicなどの結果を活かして教育方法の改善に向けて定期的に点検・評価を行っている[2-4, 2-5]。	
以上のことから、学修成果の測定・成績評価において学科ごとにルーブリック評価表を導入し、卒業研究・演習・実習科目等の成績評価をより客観的にしえた点で改善がみられる。	
長所・特色	
0405 ルーブリック評価が全学科に導入されたことは一つの成果であり、成績評価の客観性がより高まっている[4b-5]。	
留意点	
＊各項に留意点レベルを記入 【A】・・・緊急の改善を要する事項 【B】・・・検討を要する事項	
特になし	

根拠資料 No.	ピアレビューにより追加された根拠資料の名称	提出 区分
	なし	

提出区分 … ○：本シートと一緒に提出する資料
 ●：提出するが評価者以外の閲覧を不可とする
 △：現部署で保管

2024 年度（対象年度 2021～2023 年度） 自己点検・評価シート

自己評価組織	生命健康科学部
--------	---------

基準 5	学生の受け入れ
------	---------

I. 課題事項等への対応状況

前回の「自己点検・評価シート」の課題事項、ピアレビュー結果（留意点）を転記し、改善・向上への取り組みおよび進捗状況を記入してください。

☒ 課題事項	☐ ピアレビュー結果（留意点）
項目 No. 0504	入学生選抜とAPとの関連に関して自己点検・評価の詳細な分析と対応
改善・向上への取り組みおよび進捗状況	*成果の有無を問わない
残念ながら、分析と対応は十分にできていない。	

II. 自己点検・評価

1. 現状説明と自己評価

「自己評価」欄に「S：高い水準で取り組んでおり、その取り組みが他の模範となりうる」「A：概ね取り組んでいるが、若干改善の余地がある」「B：取り組んではいるが、改善すべき点が多い」「C：今後取り組んでいく」の4段階で、対象年度における自己評価を記入してください。

「現状説明」欄に、それぞれの「自己点検・評価項目」について、対象年度における実施状況を「評価の視点」も踏まえて記入してください。

自己点検・ 評価項目	0501	学生の受け入れ方針に基づき、学生募集および入学者選抜の制度や運営体制を適切に整備し、入学者選抜を公平、公正に実施していること。	自己 評価	A
評価の視点	(1)学生の受け入れ方針は、少なくとも学位課程ごと（学士課程・修士課程・博士課程）に設定しているか。 (2)学生の受け入れ方針は、入学前の学習歴、学力水準、能力等の求める学生像や、入学希望者に求める水準等の判定方法を志願者等に理解しやすく示しているか。 (5)すべての志願者に対して分かりやすく情報提供しているか。			
現状説明				
アドミッションポリシー（AP）を定期的に見直し、ホームページにて公開している[5-1]。 入試要項へのAPの記載と公開、オープンキャンパス参加者（生徒・保護者）への説明、ポートフォリオ入試事前ガイダンスにおいてAP および入試に向けた取り組みについて情報提供をしている[5-2]。				

自己点検・ 評価項目	0502	適切な定員を設定して学生の受け入れを行うとともに、在籍学生数を収容定員に基づき適正に管理していること。	自己 評価	A
評価の視点	学士課程全体および各学部・学科並びに各研究科・専攻の入学者数や在籍学生数を適正に維持し、大幅な定員超過や定員未充足の場合には対策をとっているか。			
現状説明				
本学部における入学者数の管理は、学部入試・選抜委員会等でなされるが、原案は入学センターで作成され、それによって受け入れ人数が規定される。現在の本学部は、定員と比較すると若干学生数がオーバーしている。しかし、入学者数については学部の意思で大幅な変更はできないのが現状である。				

自己点検・評価項目	0503	学生の受け入れに関わる状況を定期的に点検・評価し、改善・向上に向けて取り組んでいること。	自己評価	A
評価の視点	(1)学生の受け入れに関わる事項を定期的に点検・評価し、当該事項における現状や成果が上がっている取り組みおよび課題を適切に把握しているか。 (2)点検・評価の結果を活用して、学生の受け入れに関わる事項の改善・向上に取り組む、効果的な取り組みへとつなげているか。			
現状説明				
AP の改定を行ったところであり、これに従った形で学生を受け入れているかを今後検討する。				

2. 長所・特色

各項目の「現状説明」の中で「先駆性や独自性があるもの、有意な成果がみられるもの、他の組織の模範となるもの」を記入してください。

長所・特色	《箇条書き》
項目 No. 0502	いずれの学科とも若干の変動はあるが定員の確保はしている

3. 課題事項と今後の改善・向上方策

各項目の「現状説明」の中で「改善すべき点、向上すべき点」など、課題として認識した事項や、更なる向上を目指す事項について、現時点での改善・向上への取り組み（予定）および進捗状況を記入してください。

課題事項	《箇条書き》
項目 No. 0503	学生受け入れについて志望者数も含んだ形での点検・評価が必要
今後の改善・向上方策	
幸い本学部の入学数については定員を維持している。しかし、入学者数のみならず志望者数の点検も必要であり、少子化の中でいかに志望者を拡大するかを検討する。	

《以下はピアレビュー委員が記入します》

Ⅲ. ピアレビュー結果

総評
0504 前回の課題である「入学生選抜と AP との関連に関して自己点検・評価の詳細な分析と対応」についてであるが、分析と対応は十分ではなく、継続される課題である。
0501 アドミッションポリシー（AP）を定期的に見直し、ホームページにて公開している[5-1]。また入試要項への AP の記載と公開、オープンキャンパス参加者（生徒・保護者）への説明、ポートフォリオ入試事前ガイダンスにおいて AP および入試に向けた取り組みについて情報提供をしている[5-2]。
0502 学部における入学者数の管理について、学部入試・選抜委員会等でなされるが、原案は入学センターで作成され、それによって受け入れ人数が規定される[4a-4]。現状は、定員と比較すると若干学生数がオーバーしているが、入学者数については学部の意思で大幅な変更はできないのが現状である。
0503 AP の改定を行ったところであり[5-1]、これに従った形で学生を受け入れているかを今後検討するとされているが具体的には示されていない。

長所・特色
0501 アドミッションポリシー（AP）を定期的に見直すことをはじめ、AP に関して積極的に発信していることが看取できる。
留意点 *各項に留意点レベルを記入 【A】・・・緊急の改善を要する事項 【B】・・・検討を要する事項
特になし

根拠資料 No.	ピアレビューにより追加された根拠資料の名称	提出 区分
	なし	

提出区分 … ○：本シートと一緒に提出する資料

●：提出するが評価者以外の閲覧を不可とする

△：現部署で保管

2024 年度（対象年度 2021～2023 年度） 自己点検・評価シート

自己評価組織	生命健康科学部
--------	---------

基準 6	教員・教員組織
------	---------

I. 課題事項等への対応状況

前回の「自己点検・評価シート」の課題事項、ピアレビュー結果（留意点）を転記し、改善・向上への取り組みおよび進捗状況を記入してください。

☐ 課題事項	☒ ピアレビュー結果（留意点）
項目 No. 0605	一部の教員については、教育研究の活性化がなされておらず、年度目標等を設定した具体的な取り組みが望まれる
改善・向上への取り組みおよび進捗状況 *成果の有無を問わない	
教授会等で教育研究活動活性化についての周知を生命健康科学研究所長とともにに行っているが、組織的な取り組みには至っていない。	

II. 自己点検・評価

1. 現状説明と自己評価

「自己評価」欄に「S：高い水準で取り組んでおり、その取り組みが他の模範となりうる」「A：概ね取り組んでいるが、若干改善の余地がある」「B：取り組んではいるが、改善すべき点が多い」「C：今後取り組んでいく」の4段階で、対象年度における自己評価を記入してください。

「現状説明」欄に、それぞれの「自己点検・評価項目」について、対象年度における実施状況を「評価の視点」も踏まえて記入してください。

自己点検・評価項目	0601	教員組織の編制に関する方針に基づき、教育研究活動を安定的にかつ十全に展開できる教員組織を編制し、学習成果の達成につながる教育の実現や大学として目指す研究上の成果につなげていること。	自己評価	A
評価の視点	(1)大学として求める教員像や教員組織の編制方針に基づき、教員組織を編制しているか。 ※具体的な例 ・教員が担う責任の明確性。 ・法令で必要とされる数の充足。 ・科目適合性を含め、学習成果の達成につながる教育や研究等の実施に適った教員構成。 ・各教員の担当授業科目、担当授業時間の適切な把握・管理。 ・複数学部等の基幹教員を兼ねる者について、業務状況や教育効果の面での適切性。 (2)クロスアポイントメントなどによって、他大学または企業等の人材を教員として任用する場合は、教員の業務範囲を明確に定め、また、業務状況を適切に把握しているか。 (3)教員は職員と役割分担し、それぞれの責任を明確にしながら協働・連携することで、組織的かつ効果的な教育研究活動を実現しているか。 (4)授業において指導補助者に補助又は授業の一部を担当させる場合、あらかじめ責任関係や役割を規程等に定め、明確な指導計画のもとで適任者にそれを行わせているか。			
現状説明	編制方針に基づいて各学科に適切な教員配置をして、担当授業科目の配分も行っている[6-1]。 教職員による協働・連携は良好と評価している。			

臨地実習にあたっては、学科（実習センター）ごとに定期的に臨地実習指導者会議を開催し、実習内容や指導案を提示し、指導補助者等との責任関係や役割を示したうえで、教育を遂行している[6-2]。

自己点検・ 評価項目	0602	教員の募集、採用、昇任等を適切に行っていること。	自己 評価	A
評価の視点	(1)教員の募集、採用、昇任等に関わる明確な基準および手続に沿い、公正性に配慮しながら人事を行っているか。 (2)年齢構成に著しい偏りが生じないように人事を行っているか。また、性別など教員の多様性に配慮しているか。			
現状説明				
教員人事にあたっては、募集、採用、承認等は、学科ごとの基準を明確にし、大学のルールに則り公募をしている[6-3]。 年齢構成については、学科によっては若手教員層の数が少なく、バランスを考えた人事が必要な状況にある[6-1]。				

自己点検・ 評価項目	0603	教育研究活動等の改善・向上、活性化につながる取り組みを組織的かつ多面的に実施し、教員の資質向上につなげていること。	自己 評価	A
評価の視点	(1)教員の教育能力の向上、教育課程や授業方法の開発および改善につなげる組織的な取り組みを行い、成果を得ているか。 (2)教員の研究活動や社会貢献等の諸活動の活性化や資質向上を図るために、組織的な取り組みを行い、成果を得ているか。 (4)教員以外が指導補助者となって教育に関わる場合、必要な研修を行い、授業の運営等が適切になされるよう図っているか。			
現状説明				
学科ごとに異なるが、新任教員へのオリエンテーションの実施、全学および学部で開催されるFDへの参加推奨、学外の研修会等の案内と参加推奨を進めている。 教員の研究活動促進に関しては生命健康科学研究所と連携して対応しているが[6-4]、なお不足している教員もいる。社会貢献活動についても本学部の教員はCOC、CAACなどに積極的に関与し、成果をあげている[6-5]。 臨地実習にあたっては、学科（実習センター）ごとに定期的に臨地実習指導者会議を開催し、実習内容や指導案を提示し、指導補助者等との責任関係や役割を示したうえで、教育を遂行している[6-2]。				

自己点検・評価項目	0604	教員組織に関わる事項を定期的に点検・評価し、改善・向上に向けて取り組んでいること。	自己評価	A
評価の視点	(1)教員組織に関わる事項を定期的に点検・評価し、当該事項における現状や成果が上がっている取り組みおよび課題を適切に把握しているか。 (2)点検・評価の結果を活用して、教員組織に関わる事項の改善・向上に取り組み、効果的な取り組みへとつなげているか。			
現状説明				
教員組織の検討は各学科に委ねられており、学部全体としての検討は学部主任会で人事報告という形で行っている[4a-4]。				

2. 長所・特色

各項目の「現状説明」の中で「先駆性や独自性があるもの、有意な成果がみられるもの、他の組織の模範となるもの」を記入してください。

長所・特色 《箇条書き》	
項目 No. 0603	本学部では、社会貢献活動に関して大学の中でも最も積極的に推進している組織である

3. 課題事項と今後の改善・向上方策

各項目の「現状説明」の中で「改善すべき点、向上すべき点」など、課題として認識した事項や、更なる向上を目指す事項について、現時点での改善・向上への取り組み（予定）および進捗状況を記入してください。

課題事項 《箇条書き》	
項目 No. 0603	前回の詳細点検から続く事項であるが、一部の教員については教育研究の活性化がなされておらず、年度目標等を設定した具体的な取り組みが必要である。
今後の改善・向上方策	
生命健康科学研究所と連携し、とくに若手教員の教育研究推進を図っていく予定である。	

《以下はピアレビュー委員が記入します》

Ⅲ. ピアレビュー結果

総評	
レビューなし	
長所・特色	
留意点	
*各項に留意点レベルを記入	【A】・・・緊急の改善を要する事項 【B】・・・検討を要する事項

根拠資料 No.	ピアレビューにより追加された根拠資料の名称	提出 区分

提出区分 … ○：本シートと一緒に提出する資料
●：提出するが評価者以外の閲覧を不可とする
△：現部署で保管

2024 年度 (対象年度 2021～2023 年度) 自己点検・評価シート

自己評価組織 生命健康科学部

基準 7 学生支援

I. 課題事項等への対応状況

前回の「自己点検・評価シート」の課題事項、ピアレビュー結果（留意点）を転記し、改善・向上への取り組みおよび進捗状況を記入してください。

□ 課題事項 ☒ ピアレビュー結果（留意点）	
項目 No. 0701	退学希望者に対して転学部・転学科の道を検討するだけでは十分な対応とはいえないので、学科内で退学者を減らすための改善が求められる。
改善・向上への取り組みおよび進捗状況 *成果の有無を問わない	
各学科で検討し、退学者対応にあたっているが、退学者数は横ばい傾向にある。これらの情報は教授会で共有している[4b-3]。	

☒ 課題事項 ☒ ピアレビュー結果（留意点）	
項目 No. 0702	ハラスメント研修会が 2018 年度以降開催されておらず、ハラスメント防止対策は大学の指針共有に留めていることから、今後の継続的な啓発活動が課題である
改善・向上への取り組みおよび進捗状況 *成果の有無を問わない	
学部 FD 委員会で、研修の一環としてハラスメント研修を行っており、多くの学部教員が参加している[4b-1]。	

II. 自己点検・評価

1. 現状説明と自己評価

「自己評価」欄に「S：高い水準で取り組んでおり、その取り組みが他の模範となりうる」「A：概ね取り組んでいるが、若干改善の余地がある」「B：取り組んでいるが、改善すべき点が多い」「C：今後取り組んでいく」の4段階で、対象年度における自己評価を記入してください。

「現状説明」欄に、それぞれの「自己点検・評価項目」について、対象年度における実施状況を「評価の視点」も踏まえて記入してください。

自己点検・評価項目	0701	学生支援に関する大学としての方針に基づき、学生支援の体制を整備し、適切に実施していること。	自己評価	A
評価の視点	(4) [修学支援 (学習面)] 学生が能力に応じて自律的に学習を進められるようサポートする仕組みを整備しているか (補習教育、補充教育、学習に関わる相談等)。 (5) [修学支援 (学習面)] 障がいのある学生や留学生の実態に応じ、それらの学生に対する修学支援を行っているか。 (6) [修学支援 (学習面)] 学習の継続に困難を抱える学生 (留年者、退学希望者等) に対し、その実態に応じて対応しているか。 (8) [修学支援 (学習面)] ICT を利用した遠隔授業を行う場合にあっては、自宅等の個々の場所で学習する学生からの相談に対応するなどの学習支援を行っているか。また、学生の通信環境へ配慮した対応 (授業動画の再視聴機会の確保等) を必要に応じて行っているか。 (10) [生活支援] 学生の心身の健康、保健衛生等に関わる指導相談を、学生の実態に応じて行っているか。			

	(11) [生活支援] 学生の孤立化を防止するため、人間関係構築につながる措置（学生の交流機会の確保等）を必要に応じて行っているか。とりわけ ICT を利用した遠隔授業を行う場合において配慮しているか。 (12) [進路支援] 各学位課程（学士課程、修士課程や博士課程など）や分野等における必要性、個々の学生の特性等に応じ、就職支援のほか、職業的自立に向けたキャリア教育・キャリア形成支援等の進路支援を行っているか。 (13) [その他支援] ボランティア活動・部活動等の正課外における学生の活動への支援など、必要に応じた支援を行っているか。 (14) [学生の基本的人権の保障] ハラスメント防止、プライバシー権の保障や苦情申立への対応など、学生の基本的人権の保障を図る取り組みを行っているか。
現状説明	
高等学校までの学習分野による格差をなくすために、入学前教育を実施し、提出された課題は指導教授がコメントバックを行うよう、支援体制を整えている。 スタートアップセミナーの内容を各学科で検討し、統一した方針で実施している。 定期的に行われる学科会議等で成績不振等の問題を有する学生を抽出し、対応策について検討している。また、配慮を要する学生に対しては、学生相談室と連携して支援をしている。 新入生に対して、学期初めにトラネット利用および遠隔授業に関するオリエンテーションを行っている。 指導教授による面談を定期的に行い学生の心身の健康問題を把握し、問題のある学生については学生相談室と連携して支援を行っている。 スタートアップセミナーではグループ学習を取り入れ、仲間づくりの機会としている。研究室訪問「ゼミ仲間を知ろう」の授業回では、学生同士の出会いの場、指導教授とつながる場としている。また、他学年の学生同士の交流機会として、学生と教員との懇談会を企画運営している。 就職委員会あるいは就職担当教員による就職ガイダンス・臨地実習施設説明会の開催、指導教授による就職活動支援（履歴書、筆記試験対策、面接対策等）、本学大学院進学説明会の開催等で進路支援をしている。 国試対策については各学科で学生個々の成績変動を分析し、補習講義、模擬試験、低得点者向けの強化学習等を計画実施している。国試合格率は100%に満たないものの全国平均は上回り、強化学習により合格に導いた一定の成果が得られている。 学科ごとに方法は異なるが、ハラスメントの実態の把握と必要な対策について検討している。臨地実習におけるハラスメント案件については、科目責任者、学科教授会、看護実習センター長とともに協議のうえで、対応を行った[7-1]。	

自己点検・評価項目	0702	学生支援に関わる状況を定期的に点検・評価し、改善・向上に向けて取り組んでいること。	自己評価	A
評価の視点	(1)学生支援に関わる事項を定期的に点検・評価し、当該事項における現状や成果が上がっている取り組みおよび課題を適切に把握しているか。 (2)点検・評価の結果を活用して、学生支援に関わる事項の改善・向上に取り組み、効果的な取り組みへとつなげているか。			
現状説明				
学生支援に関する定期点検・評価は学科ごとで実施しているが、現状報告や課題については主任会で情報共有を図り、対応を検討している[4a-4]。				

2. 長所・特色

各項目の「現状説明」の中で「先駆性や独自性があるもの、有意な成果がみられるもの、他の組織の模範となるもの」を記入してください。

長所・特色 《箇条書き》	
項目 No. 0701	学生支援についてはいずれの学科とも学科会議等で慎重に審議しており、必要に応じて主任会等で情報共有を図っている。

3. 課題事項と今後の改善・向上方策

各項目の「現状説明」の中で「改善すべき点、向上すべき点」など、課題として認識した事項や、更なる向上を目指す事項について、現時点での改善・向上への取り組み（予定）および進捗状況を記入してください。

課題事項 《箇条書き》	
項目 No. 0701	継続的なハラスメント研修の実施
今後の改善・向上方策	
上述のように本学部は学生支援に鋭意努力しているが、ごくまれにハラスメントの訴えが学生から出されることがある。その予防のため、定期的にハラスメント研修をFD委員会等が中心となって実践していく。	

《以下はピアレビュー委員が記入します》

Ⅲ. ピアレビュー結果

総評
0701 高等学校までの学習分野による格差を縮小させるため、入学前教育を実施し、提出された課題は指導教授がコメントバックを行うよう、支援体制を整えている。保健看護学科は、入学後に指導教員から学生へ入学前教育の内容を見ながらバックしている。生命医科学科は入学前に色々な課題を与えその中で読書感想文を書かせて、それに対してアドバイスをしている。スポーツ保健医療学科は、入学前は課題を与えるだけでフィードバックは入学後（スタセミ）に個別に話をしている。一般入試で入ってくる学生が混在する中で行っていくのは難しく、入学前教育のあり方は今後の課題である[7-1]。 0701 スタートアップセミナーの内容は各学科で検討しており、内容によっては学生相談室の教職員、もしくは副学長を呼ぶこともあり、そのことについては学部で統一している。また、定期的に行われる学科会議等で成績不振等の問題を有する学生を抽出し、対応策について検討している。配慮を要する学生に対しては、学生相談室と連携して支援をしている。新入生に対して、学期初めにトラネット利用および遠隔授業に関するオリエンテーションを行っており、その他、指導教授による面談を定期的に行い学生の心身の健康問題を把握し、問題のある学生については学生相談室と連携して支援を行っている。 スタートアップセミナーではグループ学習を取り入れ、仲間づくりの機会としている。研究室訪問「ゼミ仲間を知ろう」の授業回では、学生同士の出会いの場、指導教授とつながる場としている。また、他学年の学生同士の交流機会として、学生と教員との懇談会を企画運営している[7-1]。 0701 ハラスメントについては、実習センターを窓口として保健看護学科と臨地実習施設との間で対応を検討して対策を講じている。ハラスメントの実態の把握と必要な対策について検討している。臨地実習におけるハラスメント案件については、科目責任者、学科会議や教授会、看護実習センター長とともに協議のうえで、対応を行っている[7-1]。 0702 学生支援に関する定期点検・評価は学科ごとで実施しているが、現状報告や課題については主任会で情報共有を図り、対応を検討している[4a-4]。
長所・特色
0701 学生支援についてはいずれの学科とも学科会議等で慎重に審議しており、必要に応じて主任会等で情報共有を図っている。
留意点
*各項に留意点レベルを記入 【A】・・・緊急の改善を要する事項 【B】・・・検討を要する事項
特になし

根拠資料 No.	ピアレビューにより追加された根拠資料の名称	提出 区分
P7-1	主任会議事録	○
P7-2	配慮申請関係者会議議事録	○
P7-3	LB 会社説明会案内メール	○
P7-4	WDB・八神案内	○
P7-5	臨地実習指導者会議議事録	○
P7-6	臨地実習推進部運営委員会議事録	○
P7-7	RK2024 看護学専攻大学院募集（二次）の案内	○
P7-8	RH 大学院 2024 春学期 Ver	○
P7-9	RB 大学院進学説明会案内メール 20230426	○
P7-10	危険物取扱者（1 年秋オリエンテーション資料抜粋）	○

提出区分 … ○：本シートと一緒に提出する資料

●：提出するが評価者以外の閲覧を不可とする

△：現部署で保管

2024 年度 (対象年度 2021~2023 年度) 自己点検・評価シート

自己評価組織 生命健康科学部

基準 8 教育研究等環境

I. 課題事項等への対応状況

前回の「自己点検・評価シート」の課題事項、ピアレビュー結果（留意点）を転記し、改善・向上への取り組みおよび進捗状況を記入してください。

☒ 課題事項	☐ ピアレビュー結果（留意点）
項目 No. 0802	学部創設時から 15 年が経過し、機器類が老朽化していることと、指定規則等の改訂による必要機器の変更などを考慮して、設備・機器類の新規購入や更新の検討が必要。教育研究等環境の適切性について、指定規則の側面も含めて、自己点検・評価して学長ヒアリングに臨みたい。
改善・向上への取り組みおよび進捗状況 *成果の有無を問わない	
予算が関わることなので十分な進展とはいえないが、例年、機器更新費および学長ヒアリングによる予算によって徐々にではあるが、老朽した機器類の代替を行っている。	

II. 自己点検・評価

1. 現状説明と自己評価

「自己評価」欄に「S：高い水準で取り組んでおり、その取り組みが他の模範となりうる」「A：概ね取り組んでいるが、若干改善の余地がある」「B：取り組んでいるが、改善すべき点が多い」「C：今後取り組んでいく」の 4 段階で、対象年度における自己評価を記入してください。

「現状説明」欄に、それぞれの「自己点検・評価項目」について、対象年度における実施状況を「評価の視点」も踏まえて記入してください。

自己点検・ 評価項目	0803	研究活動に関わる支援、条件整備を通じ、研究活動の促進を図っていること。 また、健全な研究活動のために必要な措置を講じていること。	自己 評価	A
評価の視点	(2)研究倫理や研究活動の不正防止に関する規程を定め、かつ、学生も含めて研究倫理の遵守を図る 取り組みを行っているか。			
現状説明				
研究倫理に関しては、学部としても教授会等を通じて教員、学生に e-APRIN による倫理研修を受講するように促し ている。また、研究倫理についての新規情報も周知している[4b-3]。				

自己点検・評価項目	0804	教育研究等環境に関わる状況を定期的に点検・評価し、改善・向上に向けて取り組んでいること。	自己評価	A
評価の視点	(1)教育研究等環境に関わる事項を定期的に点検・評価し、当該事項における現状や成果が上がっている取り組みおよび課題を適切に把握しているか。 (2)点検・評価の結果を活用して、教育研究等環境に関わる事項の改善・向上に取り組み、効果的な取り組みへとつなげているか。			
現状説明				
例年、大学当局に提出している重点計画表[8-1]などで新規購入機器、更新機器にプライオリティをつけるなど現有機器や必要機器の自己点検、評価を行ない、それに基づき学長ヒアリングに臨んでいる。				

2. 長所・特色

各項目の「現状説明」の中で「先駆性や独自性があるもの、有意な成果がみられるもの、他の組織の模範となるもの」を記入してください。

長所・特色 《箇条書き》	
項目 No. 0803	多くの教員・学生が研究倫理に関する研修を受講している。

3. 課題事項と今後の改善・向上方策

各項目の「現状説明」の中で「改善すべき点、向上すべき点」など、課題として認識した事項や、更なる向上を目指す事項について、現時点での改善・向上への取り組み（予定）および進捗状況を記入してください。

課題事項 《箇条書き》	
項目 No. 0804	老朽化した所有備品・機器類の更新促進。
今後の改善・向上方策	
文科省/厚労省による指定規則との関連も含めて所有する備品・機器類の更新を現実的な視点をもって進めていくつもりである。	

《以下はピアレビュー委員が記入します》

Ⅲ. ピアレビュー結果

総評	
レビューなし	
長所・特色	
留意点	
*各項に留意点レベルを記入	
【A】・・・緊急の改善を要する事項	
【B】・・・検討を要する事項	

根拠資料 No.	ピアレビューにより追加された根拠資料の名称	提出 区分

提出区分 … ○：本シートと一緒に提出する資料
●：提出するが評価者以外の閲覧を不可とする
△：現部署で保管

2024 年度 (対象年度 2021～2023 年度) 自己点検・評価シート

自己評価組織 生命健康科学部

基準 9 社会連携・社会貢献

I. 課題事項等への対応状況

前回の「自己点検・評価シート」の課題事項、ピアレビュー結果（留意点）を転記し、改善・向上への取り組みおよび進捗状況を記入してください。

☑ 課題事項 ☐ ピアレビュー結果（留意点）	
項目 No. 0902	教員の特別海外研修制度の活用や短期海外出張、国際学会参加などを通して、海外研究者との交流を活発化する。
改善・向上への取り組みおよび進捗状況 *成果の有無を問わない	
本学部の特性上、長期の海外研修はしにくく、教員はサバティカルのような形での長期交流は難しい。しかし、COVID-19 の流行も一段落したので、学部内の教員・学生の短期での国際交流を推進する。	

II. 自己点検・評価

1. 現状説明と自己評価

「自己評価」欄に「S：高い水準で取り組んでおり、その取り組みが他の模範となりうる」「A：概ね取り組んでいるが、若干改善の余地がある」「B：取り組んではいるが、改善すべき点が多い」「C：今後取り組んでいく」の4段階で、対象年度における自己評価を記入してください。

「現状説明」欄に、それぞれの「自己点検・評価項目」について、対象年度における実施状況を「評価の視点」も踏まえて記入してください。

自己点検・ 評価項目	0901	社会連携・社会貢献に関する方針に基づき、社会連携・社会貢献に関する取り組みを実施していること。また、教育研究成果を適切に社会に還元していること。	自己 評価	A
評価の視点	(1)社会連携・社会貢献に関する方針のもと、学外機関、地域社会等との連携、大学が生み出す知識、技術等を社会に還元する取り組みを行っているか。 (2)社会連携・社会貢献に関する取り組みにより、地域や社会の課題解決等に貢献し、大学の存在価値を高めることにつながっているか。			
現状説明				
医療系学部であり、教員が保健医療専門職あるいは保健医療関係機関とのつながりが強い場合も多い。また、個々の研究内容が社会と連結している。そのため、推進するまでもなく教員自身が社会貢献についての十分な自覚を持ち実践している[9-1]。さらに、大学が推進するCOC事業には学部の相当数の教員が、多くの学生とともに、この事業に関わった。 COC事業のみならず、各教員レベルでさまざまな地域交流が展開されている。とくに地域創成メディエーターを数多く輩出したり、卒業研究に学生を多く巻き込んだりして地域交流を活性化している。COC委員会の反省議論の中で自己点検を行った。また、各学科や研究所主催で市民参加のシンポジウムやセミナーなどを開催し、研究成果を広く一般市民に公開している[9-2]。				

自己点検・評価項目	0902	社会連携・社会貢献活動の状況を定期的に点検・評価し、改善・向上に向けて取り組んでいること。	自己評価	A
評価の視点	(1)社会連携・社会貢献に関わる事項を定期的に点検・評価し、当該事項における現状や成果が上がっている取り組みおよび課題を適切に把握しているか。 (2)点検・評価の結果を活用して、社会連携・社会貢献に関わる事項の改善・向上に取り組み、効果的な取り組みへとつなげているか。			
現状説明				
本学部の社会連携・社会貢献活動、おもに国際・地域連携活動として実践されているので、点検・評価は学部というよりも国際・地域戦略部門会議等で実施している[6-5]。				

2. 長所・特色

各項目の「現状説明」の中で「先駆性や独自性があるもの、有意な成果がみられるもの、他の組織の模範となるもの」を記入してください。

長所・特色	《箇条書き》
項目 No. 0901	多くの教員がCOC、CAAC など大学が企画する社会貢献活動に参加している。

3. 課題事項と今後の改善・向上方策

各項目の「現状説明」の中で「改善すべき点、向上すべき点」など、課題として認識した事項や、更なる向上を目指す事項について、現時点での改善・向上への取り組み（予定）および進捗状況を記入してください。

課題事項	《箇条書き》
項目 No. 0901	国際交流の組織的促進
今後の改善・向上方策	
本学部は地域に対する社会貢献活動は非常に多くなされているが、国際的な交流については、個々の教員の活動としてしか実践されていない。学部として国際交流を図れるように計画したい。	

《以下はピアレビュー委員が記入します》

Ⅲ. ピアレビュー結果

総評
レビューなし
長所・特色
留意点
*各項に留意点レベルを記入
【A】・・・緊急の改善を要する事項
【B】・・・検討を要する事項

根拠資料 No.	ピアレビューにより追加された根拠資料の名称	提出 区分

提出区分 … ○：本シートと一緒に提出する資料

●：提出するが評価者以外の閲覧を不可とする

△：現部署で保管

2024 年度（対象年度 2021～2023 年度） 自己点検・評価シート

自己評価組織	生命健康科学部
--------	---------

基準 11	大学独自の評価項目
-------	-----------

I. 課題事項等への対応状況

前回の「自己点検・評価シート」の課題事項、ピアレビュー結果（留意点）を転記し、改善・向上への取り組みおよび進捗状況を記入してください。

☑ 課題事項	☑ ピアレビュー結果（留意点）
項目 No. 1120	学部教務委員会の活動については、定期的で開催されておらず、メール会議の形にせよ、定期的な開催を図る必要がある。
改善・向上への取り組みおよび進捗状況 *成果の有無を問わない	
学部教務委員会については、メール会議が中心であるが、頻回に開催し、教務に関する意見交換、情報共有を促している[4a-2]。	

II. 自己点検・評価

1. 現状説明と自己評価

「自己評価」欄に「S：高い水準で取り組んでおり、その取り組みが他の模範となりうる」「A：概ね取り組んでいるが、若干改善の余地がある」「B：取り組んではいるが、改善すべき点が多い」「C：今後取り組んでいく」の4段階で、対象年度における自己評価を記入してください。

「現状説明」欄に、それぞれの「自己点検・評価項目」について、対象年度における実施状況を「評価の視点」も踏まえて記入してください。

自己点検・ 評価項目	1121	管理運営組織および教育研究組織において、持続的に業務内容の点検を行っているか。	自己 評価	A
評価の視点	(2)委員会活動の検証 ・開催、および議事録作成に関する手続は、適切に行っているか。			
現状説明				
主任会は毎月第1水曜日、教授会は毎月第3水曜日に開催し、事前に学部長名で開催通知を行い定員の確保を図っている。主任会は各学科主任と主任補佐で構成され、学部・学科に関わる文科省・厚労省との教務等に関する課題、学部人事、学部全体の課題、学科の課題、会議報告など教授会に向けて重要事項を討議している[4a-4]。教授会は各教員の最優先業務として、特殊事情のない限り出席を義務づけているため、毎回90%以上の出席率を確保している[4b-3]。ともに、事務方で作成し、学部長(議長)の決済を経て、本部に提出している。また、月1回は学部執行部(学部長、副学部長、学部長補佐、事務長)で人事等の重要案件の打合せを行い、主任会に臨んでいる。正式の会議でないため、また秘匿事項も含むため正式の議事録は作成していない。 学部教務委員会では、学部全体の教務関係課題の審議や学科間の情報共有を目的として、活動を継続している。同委員会の開催はメール審議が多いが、以前よりも頻回に開催している[4a-2]。				

2. 長所・特色

各項目の「現状説明」の中で「先駆性や独自性があるもの、有意な成果がみられるもの、他の組織の模範となるもの」を記入してください。

長所・特色	《箇条書き》
項目 No. 1121	学部教務委員会が頻回に開催されるようになり、教務に対する関心が高まった。

3. 課題事項と今後の改善・向上方策

各項目の「現状説明」の中で「改善すべき点、向上すべき点」など、課題として認識した事項や、更なる向上を目指す事項について、現時点での改善・向上への取り組み（予定）および進捗状況を記入してください。

課題事項	《箇条書き》
項目 No. 1121	主任会・教授会の会議時間の短縮と効率的、効果的な運用の方法の検討
今後の改善・向上方策	主任会・教授会ともに事前の準備を整え、効率的かつ円滑に運営できている。会議時間の短縮を図るため、より効率的、効果的な運用の方法を検討していきたい。ただし、十分な審議が図れるように留意する。

《以下はピアレビュー委員が記入します》

Ⅲ. ピアレビュー結果

総評
レビューなし
長所・特色
留意点 *各項目に留意点レベルを記入
【A】・・・緊急の改善を要する事項 【B】・・・検討を要する事項

根拠資料 No.	ピアレビューにより追加された根拠資料の名称	提出 区分

提出区分 … ○：本シートと一緒に提出する資料
●：提出するが評価者以外の閲覧を不可とする
△：現部署で保管

2024年度 自己点検・評価シート 根拠資料一覧

組織名

生命健康科学部

基準（シートNo.）	根拠資料 No.	根拠資料の名称	提出 区分
2. 内部質保証 (NF2)	2-1	2021年度（対象2019～2020年度）自己点検・評価シート	○
	2-2	2022年度（対象2021年度）自己点検・評価シート	○
	2-3	2023年度自己点検・評価シート	○
	2-4	リハビリテーション教育評価機構認定証（理学療法学科）	○
	2-5	リハビリテーション教育評価機構認定証（作業療法学科）	○
	2-6	WFOT（世界作業療法士連盟）認定証	○
	2-7	2021年度（対象2019～2020年度）自己点検・評価「個別課題」改善報告書	○
4. 教育・学習(4a) (NF4a・EF4)	4a-1	生命健康科学部DP, CP, AP	○
	4a-2	教務委員会議事録	○
	4a-3	学生便覧、大学HP公開資料	△
	4a-4	主任会議事録	○
4. 教育・学習(4b) (NF4b)	4b-1	FD活動評価点検報告書	○
	4b-2	シラバス	△
	4b-3	教授会議事録	○
	4b-4	形成評価の手引き	○
	4b-5	保健看護学科ルーブリック表	○
5. 学生の受け入れ (NF5・EF5)	5-1	AP	○
	5-2	入試要項	△
6. 教員・教員組織 (NF6)	6-1	教育職員定員・現員表	○
	6-2	臨地実習指導者会議議事録	○
	6-3	採用・昇格基準	△
	6-4	生命健康科学研究所自己点検・評価報告	○
	6-5	国際・地域戦略部門会議資料	○
7. 学生支援 (NF7・EF7)	7-1	臨地実習推進部会議議事録	○
8. 教育研究等環境 (NF8)	8-1	2022・2023年度以降における教育研究に係る学部等重点事業計画案について	○
9. 社会連携・社会貢献 (NF9)	9-1	中部大学教育・研究に関する実態資料	△
	9-2	生命健康科学研究所実績報告	○
11. 大学独自の評価項目 (NF11)			

提出区分 … ○：本シートと一緒に提出する資料

●：提出するが評価者以外の閲覧を不可とする

△：現部署で保管